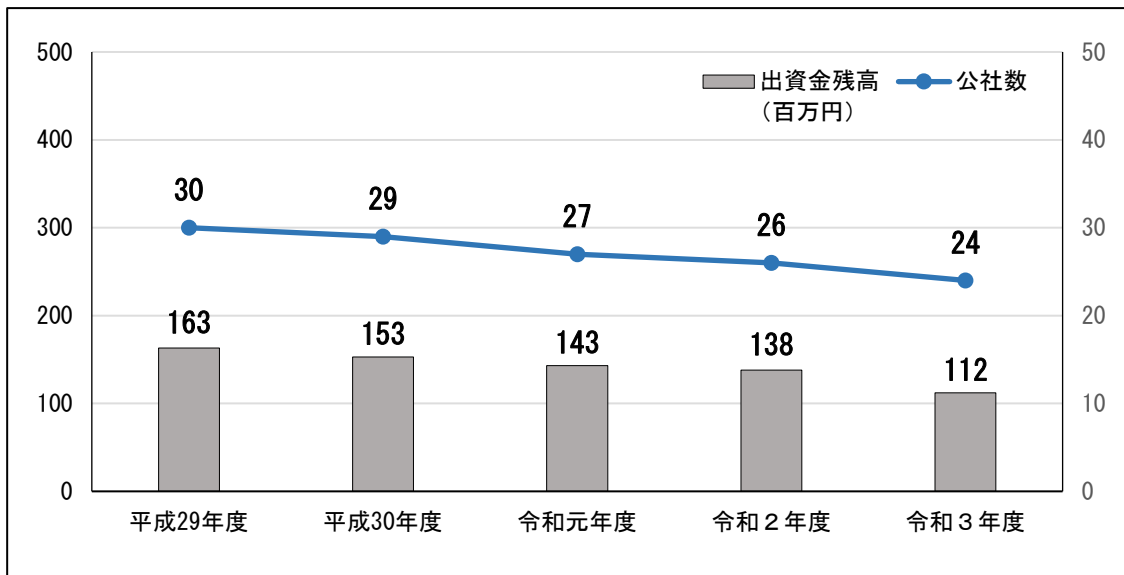


V 土地開発公社の状況

1 土地開発公社の概況

土地開発公社の数（令和4年3月31日現在）

土地開発公社の数は減少傾向にあり、令和3年度末では、前年度に比べ2公社（岩見沢市及び江差町土地開発公社）が解散し、24公社となった。また、出資金残高は26百万円減少し、1億12百万円となった。



2 土地開発公社の経営状況

(1) 決算の状況

令和3年度決算において、経常収支が赤字となった公社の数は前年度に比べ4公社減少し、9公社となった。

また、負債が資産を上回るいわゆる債務超過となっているのは、前年度に比べ1公社減少し、1公社のみとなった。

		公社数			割合 (%)	
		R3年度	R2年度	増減	R3年度	R2年度
経常収支の状況	黒字	15	13	2	62.5	50.0
	赤字	9	13	▲4	37.5	50.0
資産の状況	資産 > 負債	23	24	▲1	95.8	92.3
	資産 < 負債	1	2	▲1	4.2	7.7

(2) 保有土地の状況

令和3年度末に保有する土地については、前年度に比べ面積ベースでは58ha減少し、76haとなり、金額ベースでは、15億49百万円減少し、39億89百万円となった。

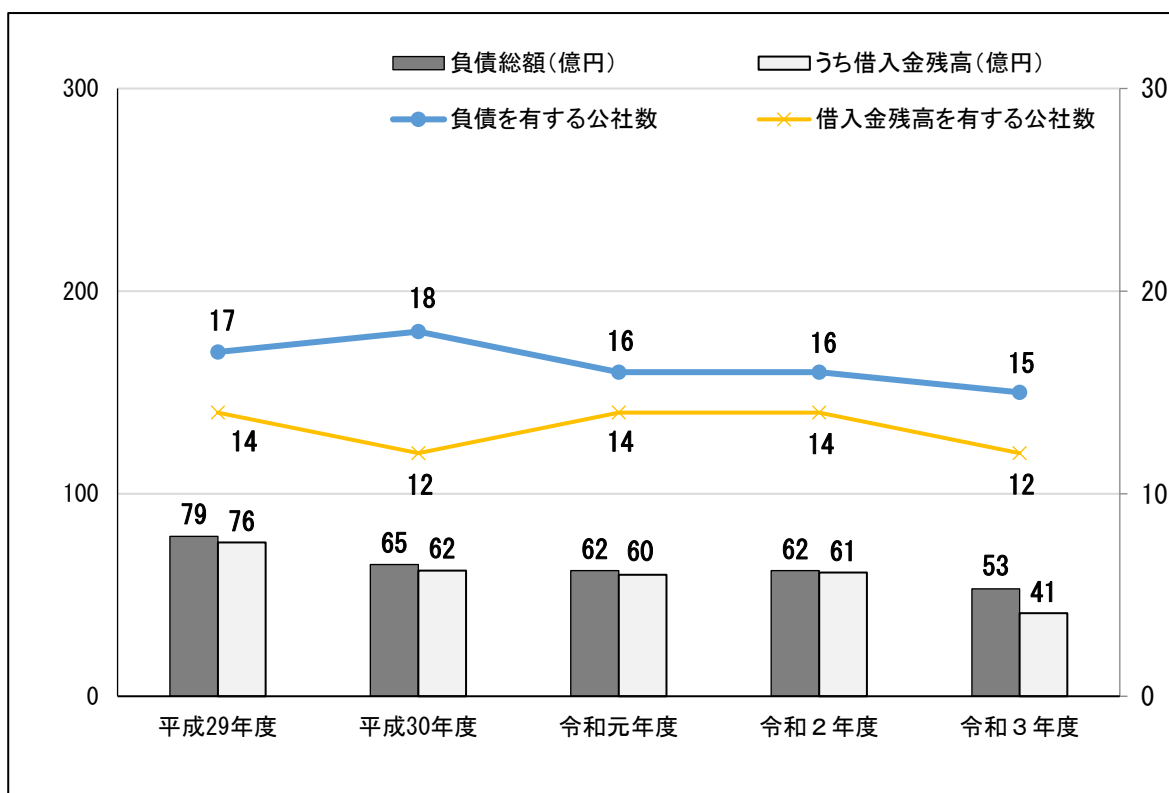
また、取得から5年以上経過している長期保有土地は、面積ベースで67ha（全体の88.2%）、金額ベースで35億70百万円（全体の89.5%）となった。

	保有土地の面積 (ha)			保有土地価額 (百万円)		
	R3年度	R2年度	増減	R3年度	R2年度	増減
市町村等の依頼に基づき公共用として先行取得した土地	32	72	▲ 40	1,565	2,222	▲ 657
住宅用地・工業団地等の事業用地	44	62	▲ 18	2,424	3,316	▲ 892
保有土地計	76	134	▲ 58	3,989	5,538	▲ 1,549
うち5年以上保有土地	67	114	▲ 47	3,570	4,524	▲ 954
5年以上保有土地の割合 (%)	88.2	84.7	—	89.5	81.7	—

(3) 負債の状況

令和3年度末に負債を有するのは15公社（全体の62.5%）であり、そのうち借入金残高を有するのは12公社（全体の50.0%）となった。

負債総額は、公社の解散等に伴い年々減少しており、前年度に比べ9億円減の53億円となり、そのうち借入金残高は41億円となった。



(4) 設立地方公共団体からの財政的支援の状況

令和3年度末における設立市町村から土地開発公社への貸付金残高は、4公社に4億8百万円、補助金交付額は、2公社に対し、6百万円となった。

また、設立市町村以外からの借入金残高のある8公社に対し、設立市町村が債務保証又は損失補償を行っており、その額は令和3年度末で35億36百万円となった。

	公社数			年度末残高(百万円)		
	R3年度	R2年度	増減	R3年度	R2年度	増減
貸付金残高	4	4	0	408	431	▲ 23
補助金交付額	2	4	▲ 2	6	171	▲ 165
借入金残高のうち地方公共団体による債務保証等残高	8	11	▲ 3	3,536	5,503	▲ 1,967

○ 土地開発公社への債務保証等残高の状況

(単位：千円)

市町村名	債務保証等債務残高				
	令和3年度末	標準財政規模 に対する割合(%)	令和2年度末	増減	
函館市	1,481,350	2.1	1,656,648	▲ 175,298	
帯広市	0	0.0	710,570	▲ 710,570	
岩見沢市	0	0.0	894,048	▲ 894,048	
網走市	32,000	0.3	32,000	0	
留萌市	75,000	0.9	163,000	▲ 88,000	
三笠市	0	0.0	35,000	▲ 35,000	
砂川市	892,820	12.2	975,390	▲ 82,570	
鷹栖町	155,997	4.5	159,571	▲ 3,574	
当麻町	159,369	4.3	87,369	72,000	
音更町	9,000	0.1	9,000	0	
幕別町	730,000	7.1	780,000	▲ 50,000	
合計	債務残高	3,535,536	-	5,502,596	▲ 1,967,060
	公社数	8	-	11	▲ 3